

(平成 27 年 8 月試験研究業務月報)

試験研究課題：鶏ふん焼却灰の特性を活用した消毒法の開発

研 究

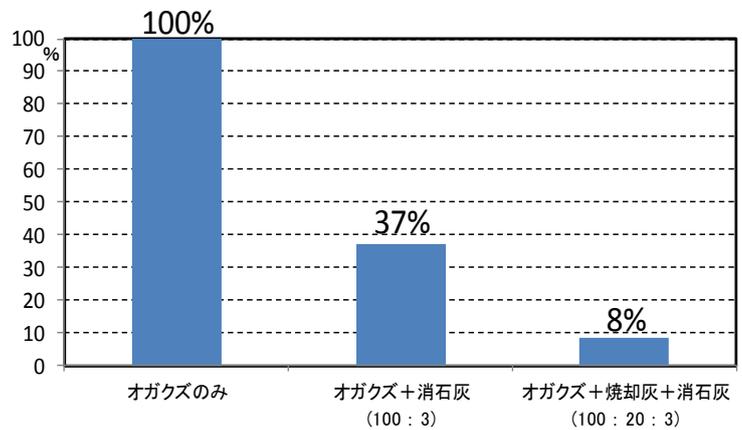
鶏ふん焼却灰を混合した敷料で牛床での大腸菌群増殖を抑制

乳牛の敷料がふん尿で汚染されると、大腸菌群が増殖して乳房炎等の疾病の原因となります。当センターでは、未利用の鶏ふん焼却灰と消石灰を混合して敷料のオガクズに添加することで大腸菌群が効率的に殺菌できることを実験室で確認しました。今回、その効果を実証するために牛舎で試験を行いました。

鶏ふん焼却灰と消石灰の混合物を添加したオガクズを敷料として試験牛を 24 時間飼養したところ、敷料中の大腸菌群数がオガクズのみで飼養した場合の 10 分の 1 以下に抑えられ、また、オガクズに消石灰のみを添加するよりも高い効果が確認できました。



敷料への鶏ふん焼却灰混合



各敷料で 24 時間飼養後の大腸菌群発生比率
(オガクズのみを 100%とした場合)